

偽りの自由:

ポスト・デモクラシーについての反省

政府の政策を**応**援して激しい議論を避けるならば
私は「自由」でいられるでしょう。

不公平を気にかけずに**力**のある人達にたてつかなければ
私は「自由」でいられるでしょう。

しかし、ひとたび質**問**が過ぎたなら
そして上に立つ人々を**脅**かしたなら
この砂上の蜃気楼はたちま**ち**消え失せ。

私の「自由」の限界がはっきり**す**るでしょう
さらに挑戦することに固執するならば**罰**と**呼**ばれるものは
増えつづける。

全ての人には見えない限界があると、
勿論「私は現在の政権を指示**し**ます！」
自由であることはとても素晴らしいから！

ティン: (歩道に唾を吐く) 何十億もの人々が存在する世界で、自由を期待するなんて浅はかではないだろうか？

玲亜: (気づかないふりをする) まあ、いったい誰が、そんな質問に本当に答えることができる？

ティン: (寧を無視して) 自由なんて、奇跡です。どういうわけか私たちは皆奴隷です。

玲亜: (会話を切ろうとして) 今日の天気は、曇りになるらしいよ。

ティム: (この会話を救出しようとする) ああ、天気のことね！

- T Newfields (和訳: 神谷卓代と吉田典子)

開始: 1998 年 桃園市 (台湾) 完成: 2019 年 横濱市

